

東京すくわくプログラム参加報告1

テーマ 「季節」について楽しく学ぶ

園名 尾山台みどり保育園

活動日 11月20日

対象 5歳児

「季節・秋を感じる」

秋を知る、感じることを今月子ども達とともに取り組んでいます。秋に昨年仕込んだ味噌が出来上がるので、食べてみることに。また、味噌は大豆の加工食品であることから、加工食品についてどんなことを知っているのかを聞いてみることにしました。

活動内容

せんべい、チーズ、豆腐、味噌、醤油、ケチャップ、ポテトチップス、たくわん、ベーコンを用意し、何からできているのかを訊きました。お部屋の中にあるものの中からとってきてもらいました。

子どもの様子

ベーコンやケチャップは簡単にわかる子どもが多かったですが、せんべいが「小麦粉からできてる」「砂糖からできている」と答えた子どもがいました。子ども達が米を触って、硬いことを確かめた後、「ご飯になるとなぜ柔らかく、食べられるようになるの？」という先生の質問に、

「お米が水を吸収して柔らかくなる」と答える子供がいました。最後にその加工品を「どうやってたべるの？」と先生が訊くと、「ベーコンをサンドイッチにして食べる」「味噌汁に豆腐を入れる」「ケチャップでオムライスを味付ける」という返事が返ってきました。



振り返り

お部屋に、牛の乳からチーズ、バター、ヨーグルトなどの乳製品ができることを表している絵。また大豆から味噌、豆腐、醤油、納豆などの豆加工品があることを表す絵を貼り、子ども達が見て知ることができる環境を用意しているので、活動が終わってからもお部屋で、加工食品について知り、確認することができました。たくわんを知らない子どもがいました。みんなで食べる機会を持とうと思います